

2003.01.21：経済環境協議会

環境局長

環境局より3点御報告申し上げます。

1点目でございますが、肉骨粉の焼却につきまして、総務課長から御報告を申し上げます。また、商業施設への紙類回収庫の設置について、ごみ分別徹底のテレビコマーシャルの放送について、以上2点につきましてリサイクル推進課長より報告申し上げます。

池田友信委員

このコマーシャルについては私も大変興味があり、またこういうことについて大いにやるべきだと思います。実は私ごとですけれども、うちの息子が東京におりまして、東京でこの仙台のワケルくんが物すごくはやっているんですね。関心があるということです。ワケルくん関係の資料が欲しいということで問い合わせがありまして、ぜひそういう意味ではPRも含めてやっていきたいと思えます。

要は、仙台がこの分別に対してこういうコマーシャルをしながらやっていく、その展開の仕方をこれからほかの自治体も求めてくると思うんです。仙台は、それなりに先進都市として誇れるようにぜひこのコマーシャルもやりながら……。地域の方よりも意外と県外の方で評判になっておりまして、特に若い人が結構このワケルくんに対して……。セピア色のものが今の若者の気持ちをちょっとつかんだかなということに私は非常に興味がありまして、そういう部分の若い人たちがこれからどんな形で反応していくのか、これは私どもも努力していかなければいけないし、地元の若い人にもやはりこれは受けてもらわなければならないと思います。このコマーシャルについては、安いからというだけではなく、ある意味では段階的に家庭の中に入っていくという方策を第一段、第二段を考えていくべきだと思いますので、その辺のお考えもお聞きしたいと思えます。

それからもう一つは、非常にそういう状況ですから今あるワケルくんの資料関係、ポスター関係ですね、その辺の展開の仕方をもっと地元も含めてやるべきだと思うんです。

町内の方にも来ている部分はありますが、枚数とか資料とかというのは余り浸透していない部分もありますから、この辺の状況が今どんな形になっているのか、それをあわせてお聞きしたいと思えます。

リサイクル推進課長

ただいまの御質問ですけれども、実は私どもの方では当初11月の1カ月間だけ集中的にキャンペーンをやろうということで始めたわけなんですけれども、その月の後半ぐらいになって何となく手ごたえがあるような感じがありました。それでキャンペーンの専用サイトだけは3月まで設けるということは当初から決めていた関係もありまして、実はこういうことであればもっとやってみようかというような気持ちで再度スタートしたわけなんです。例えば、地下鉄仙台駅の柱にアドピラーという柱巻き広告を並べたりするものも、1カ月間交通局の方にお金を払いましてやらせていただいたんですけれども、当初がそういったものですので、なかなか後が結構続かない部分もありまして、いろいろ工夫しながら今我々としてはできるだけ余りお金をかけずに何とかやり切れないものだろうかということやっております。何とか3月まで息切れしないで、さらにもっとやっていきたいなと思っております、これからウェブサイトとかそういったものを中心にしながら、さらに市民の方にいろいろチラシ類とかそういったものも含めて何とか浸透をしていくように努力していきたいと考えております。

池田友信委員

これからワケルくんが、ひょっとしたら全国的にある意味での波及があって、ワケルくんのような形でごみの分別を含めてやるべきではないかというのがほかの都市で動きが出てくると思うんです。そういう状況から見ると、やはりこのチャンスをもっとアピールして生かしていくという積極的なやり方が、私は仙台市は今これについていいチャンスだと思いますので、資料の増刷もさることながら、やはり民間の企業も含めてごみの分別に協力してもらわなければならないわけです。ですから、そういう公共機関ばかりではなくて、もっと民間の施設とか民間の企業においても掲示したりPRしてもらったり、特に企業関係はいろいろな支社、支店が多いですから、そういう部分でいきますと非常に波及効果というものは大きいと思いますので、そういった意味で仙台市だけではなくて大きく広がっていく一つの展開の仕方を仙台で示していくということが環境都市仙台というアピールにも非常になりますし、ですから民間の企業関係とかそういうところについての展開の仕方もこの際思い切ってお願いしていくことに取り組んでいった方がいいと思うんですが、その辺の御見解をお伺いします。

環境局長

ただいまの御質問でございますけれども、このキャラクターはそもそもキャンペーンで11月の1カ月ということで、しかも若者に向けてターゲットを絞り

しかし、やはり課題もございます。御指摘のとおりこれを地域の中に、生活の中にどういうふうにと落ちていくかということがこれから問われてくると思います。したがって、今いろいろ御指摘いただきましたように、民間、あるいは市民の各層、各年代の方々に幅広く受け入れてもらうような……。ねらいは分別、そしてごみの減量でございますので、その生活習慣をしっかりと定着させるように、今後努力してまいりたいと思っております。